

点訳通信 第19号

日本ライトハウス
盲人情報文化センター

点字製作係
〒550 大阪市西区江戸堀1-13-2
TEL 06-441-0015

私 の 点 訳 ラ イ フ

福山 美佐子

×月×日

新しく点訳する本を選ぶ。「今度こそ、最初に手にした本を」と思っていたが、結局あれこれ迷う。

×月×日

30ページ入れる。

×月×日

「さあ」と腰を下したとたん人が来る。電話がかかる。そのうえ指まで動かない。画面には文章にならない文字が並んでいる。1ページも入れずに止める。

×月×日

終わりにしようか。区切りのいいところまでにしようかと思いつきながら入れていたら、目の縁でチラチラするカーソルが動いていないようだ。えっ？目を画面に移し、画面をみながらキーを動かす。反応なし。なんで？なんで？今日入れたのは全部パー。腹立たしく電源を切る。（途中で「12」のキーを押せば腹立たしさも半減なのに）

×月×日

「独参場。何と読む？」「この本ミスが結構あるからミスかも…」なんて話しながら校正。後で調べたら「ドクジントウ」と読んでせんじ葉の名だった。漢字の読みで恥ずかしい思いをする。帰りに梅田の本屋で立ち読み。メモを片手に本を探す振りで読み方を調べる。（近所の本屋ではできない）。今点訳している本にはやたら小説の題名が出て来る。どこの発行所も「かな」をつけてくれるとよいのに。

長時間になると悪いなと文庫本を一冊買う。

×月×日

やっと完成。ホッとする。

いろいろあって一冊が完成します。

（ふくやま みさこ）

私 の 点 訳 ラ イ フ

今里 みづ代

最近、点訳・校正をされていて感じることもある。

いつ頃からか、ハラハラドキドキすることがなくなったのは何故だろうと。

以前は、点訳を「ノルマ」と感じることなく（それがタイプで1週間25枚位であろうと）、毎回、ハラハラドキドキしながら、点訳し、校正（ペア校正で相手の校正も）していた。

ペア校正をしていた時は、自分の本の点訳は勿論だが、相手の本を一冊校正し終わった時、自分自身がその本を全部点訳したような、そんな充実感があつたように思う。これがハラハラドキドキのものではなかったかと思う。

自分ならば絶対に読まないだろう本を校正したときには、「なんで～」と思ったり、「一寸しんどいな」と思ったりしたこともあるが、それもハードルだと思い越えて来た。

又、点訳する本が予想していた内容とは全くちがっていて、がっかりすることもあるが、何か得をしたような、うれしくなることもある。（教科書点訳では色々なことを本当に勉強しました。）

そんな時には、ペア校正の相手と、その本について感じたこと、思ったことも話したりしていた。

話は変わるが、点字の「点」には表情があると私は思う。（これは、点字板やタイプの場合）

落ちこんだ時、気持ちがあせっている時、・・・（点点点）は6点しっかり打てていない。点訳者のその時の状態を「点」はそのままあらわしているように思う。これもハラハラドキドキの一つではないかと思う。

一度はパソコン点訳をはじめたが、今はその時々表情を持つ、この「点」（点訳）にこだわり、最近読む機会も少なくなったタイプ点訳にもどっている。

迷いつつ、まどいつつ、真のプロをめざして、又ハラハラドキドキを再び味わえることを期待して、細く長く続けてみよう。
(いまざと みづよ)

お知らせ

日本アイ・ビー・エムでは、障害者、福祉施設、点訳ボランティアなどに対し、福祉割引をおこなっています。パソコン、周辺機器、消耗品いずれも45%引きで購入することができます。この制度を利用するためには手続きが必要です。パソコンなどの購入を考えておられる方はご相談下さい。

点訳Q&A

Q

～駅前広場は、～エキ マエ ヒロバ だそうですが、以前、「駅前広場」「駅前旅館」などは一つの熟語だから、エキマエとつづけるように聞いた記憶があります。～駅前に集合（～エキ マエニ シューゴー）とはちょっと違うように思いますが、やはり同じように切って書いた方がよいのでしょうか。

A

以前「時間的な“前”は切り、場所的な“前”は続ける」という規則で点訳をしていたのは、まだ記憶に新しいことと思います。しかし「では、ゴール前の“前”は時間的か場所的か」となりますと、話がややこしくなります。そこで当センターでは、どちらの“前”も切って書くこととし、表記辞典も運用表のように訂正していただきました。その原則からいいますと

三宮駅◇前に◇集合◇すると・・・
三宮駅◇前◇広場に◇集合◇せよ

となります。勿論、ご質問のように「駅前広場」「駅前旅館」は熟語ですから単独では

今日も◇駅前◇広場の◇噴水は・・・
とある◇一軒の◇駅前◇旅館から◇一人の◇男が・・・

となり、文章によって

三宮の◇駅前◇広場には◇大勢の◇人々が・・・

となります。

お知らせ

年末年始は年賀状などで郵便事情が悪化する恐れがあります。また、当センターでも年始は年末年始休暇中に返送された大量の郵便物の仕分けに1週間ほどかかります。郵送で校正用の墨点字の打ち出しを希望される方は、余裕をもってお送り下さい。なお、万が一届いていない場合や、当方の処理が遅れる場合もありますので、来館の節は予備のデータもお持ち下さい。

点訳Q&A

Q

第1カギ類で囲んだ語句が並列している場合、1マスあけ？ 2マスあけ？ 「点訳のてびき」のP. 56の(3)で、会話のやりとり等、独立した文が並列する時は2マスあけるとあるのですが、悩む時があるので、例をあげて教えていただけないでしょうか。

A

はっきり、会話のやりとりとわかる場合はあまり問題ないと思いますが、カギの中が比較的長い文章の場合に迷うことが多いのだと思います。例をあげますと、

「君達は、どんなテレビ番組を見えていますか」という質問に、「もちろんアニメよ」「私は、テレビはあまり見ません」「連続ドラマを楽しみにしています」などと、いろいろな答えが返ってきました。

この文章の後の三つのカギは、ひとの喋った言葉ではありますが、“会話のやりとり”とはいえません。またカギの並列のあとに、“などと、いろいろな・・・”という文章が続いていることから、独立した文章とはいえません。カギの中が文章ではありますが、“てびき”の例文

「住所」「氏名」「電話番号」を書いて下さい。

と同じ類いと考えられますから、カギの間は1マスあけとします。このようにかぎのあとに助詞などがつづいているかどうかとも判断の目安になるかと思います。

2マスあけとする“独立した文章の並列”の例としては、次のような文章が考えられます。

彼らは「人を殺すぐらいなら、殺されるほうがよい」という、最も優しい民族のように思えた。「争わないことで争いにうち勝て」「怒らないことで怒りにうち勝て」。ここは今なお仏陀の教えが生きている国なのだろう。

難読漢字コーナー

今回は易しい漢字の読み方 —— 易しいために、つい辞書をひく手間を省いて間違った読み方をしがちな言葉を集めてみました。(主に、『広辞苑』による)

郎等 (ロートー)	術策 (ジュッサク)	生者必滅 (ショージャ◇ヒツメツ)
郎党 (ロードー)	音曲 (オンギョク)	盛者必衰 (ジョージャ◇ヒツスイ)
売女 (バイタ)	雑兵 (ゾーヒョー)	大音声 (ダイオンジョー)
呆然 (ボーゼン)	風土記 (フドキ)	野に下る (ヤニ◇クダル)

言質（ゲンチ）	因縁（インネン）	入唐僧（ニットーソー）
六朝（リクチャウ）	翌夕（ヨクセキ）	軽んじる（カロンジル）
入籠（イレコ）	逆鱗（ゲキリン）	大手（オオデ）を振る
世論（セロン）	昼日中（ヒルヒナカ）	伊勢・内宮（ナイクー）
施行（シコー）	鉄製（テッセイ）	伊勢・外宮（ゲクー）
施工（セコー）	極彩色（ゴクサイシキ）	散銭（バラセン）
幾重（イクエ）	本草（ホンゾー）	別世界（ベッセカイ）
煮湯（ニエユ）	神道（シントー）	足踏板（アブミイタ）
日時（ニチジ）	祭神（サイジン）	お店者（オタナモノ）
遊山（ユサン）	猫糞（ネコババ）	仰け反る（ノケヅル）
灰汁（アク）	延縄（ハエナワ）	有り得る（アリウル）
水主（カコ）	末枯れ（ウラガレ）	有り得ない（アリエナイ）

ミニミニ点訳講座

文中注記について

“点訳のてびき” P. 64 に文中注記符と注の書き方がでていますが、少し補足・訂正します。

1. 注記符の入れ方と注の書き方

- ① “てびき” には、文中注記符を用いる箇所は「原則として原文に従い」とありますが、「原則として注を要する語のあとにつける」と訂正して下さい。
- ② 注の番号が a、b、c で表されているときも、原則として数字に直します。
- ③ 注は、章や節などの切れ目に一括して書きます。
- ④ 原本で、注記番号が最初から最後まで通し番号になっていても、点訳本では区切り毎に 1 から始めます。但し、くれぐれも番号を間違えぬように注意して下さい。
- ⑤ 一つの区切りの中に、ごく短い注が 1、2 個しかないときは該当する語のすぐあとに第 1 カッコで入れるのも一方法です。

2. 本文と注の間の処理は、次の二通りの方法があります。

- ① 本文と注の間を 1 行あける。
- ② 2・5 の点 1 行全マス（30 マス。パソコンは 32 マス）の線を入れる。
この仕切り線はページ末に来ててもページのはじめに来ててもかまいません。

ルビの処理について

最近、文章中のルビが目立ちます。

「点訳」という観点に立ってみると、それらは用い方によって幾つかの種類に分類することができるように思います。

例を挙げながら、ルビの用法を分類し、処理のしかたを考えてみました。

1. ふりがなとして付されたルビ

[例] 「わたしは、この住居ならびに家族のうちに存する厭^{いと}うべき事情^{かんが}に鑑^{かんが}み」一彼はここで咄^{とっさ}嗟^さに決心して床に唾^{つば}を吐いた……

[処理] ルビのみを書きます。

2. 専門用語や流行語、業界用語など、特殊な読み方をする語につけられたルビ

※推理小説などには、新宿^{しんじゅく}、警察^{けいさつ}、犯人^{ぼんし}、刑事部長^{ていしやうちやう}さんなど、この類いのルビが多いようです。

[例] 「遊女屋^{かみ}のお内儀^{うちぎ}になるのは、こんりんざい、おことわりだね。吉原^なのくらしなんて、もう、まっぴらだよ。」

[処理] 本行の読みを必要としない場合はルビのみを書きます。殊に、小説の会話文などでは全体の流れを妨げるようなことのないように配慮しましょう。

3. 作者の意図で、特別な読み方をするもの

※ 雑誌やポピュラー・ソングの歌詞などには、このような使い方のルビが目立ちます。

[例 1] お邸^{ぢやう}の中じゃ「私^{わたし}なんかはね！」って顔^{かほ}してる女房^{にようばう}が覗^{のぞ}きながら張り切^{はりき}って奥^{おく}の方に突^つっ立^たってるのを、御前^{ごぜん}に控^{ひか}えてる女房^{にようばう}が笑^{わら}ってるんだけど、なんにも分^わかんない顔^{かほ}したお姫^{ひめ}様がポアーンと見てらっしゃるのよ……

[処理] 本来の読みを記すことで意味の理解を明確にできる例です。

ルビのあとに括弧で本行の読みを記し、二度目以降はルビのみを書きます。

[例 2] 春待^{はるまち}つ心^{こころ}は有^ありながらも、猜^{うたが}疑^いと恐^{おそ}怖^れとに閉^{しま}じられて了^{しま}って、内^{なか}部の^{いのち}生命^のは発^は達^つるこ^のとが出来^のなかつた

7. その他の例

[例] 織田¹⁵³⁴⁻⁸²信長が業なかばに倒れたのち、天下の実権をにぎったのは豊臣¹⁵³⁶⁻⁹⁸秀吉であった。

[処理] この例はルビと言うよりはむしろ文中注記の役割をなしているもので、人名の後に括弧で年号を記します。

[例2] 彼の表現は、いつも曖昧^マで説得力に欠けるから……

[処理] これもルビというよりは点訳者注のような役割をもった内容であり、この文例では敢えて誤字であることを明記する必要はありません。

古文書や、作者が意図的に書いたもの場合は括弧内に（ママ）と書きます。

《ルビの扱いで考慮すべきこと》

- ①文章中でのルビの役割をよく考え、点訳する必要の有無を考えましょう。
- ②同じルビが何度も出て来るときの処理のしかたを考えましょう。殊に、二回目以降にルビのない場合は、よく考えて処理しなければなりません。
- ③最初にでてきた時に本行の読みとルビの両方を書き、二回目以降はどちらか一方だけを書く方法がありますが、そのような時でも巻数が改まった時には、改めて両方を書くようにするのが親切と言うものでしょう。
- ④ここに記した（例）は一つの目安です。絶対というようなルールがあるわけではありません。
ケース・バイ・ケースで、読みやすい点訳を心がけるように工夫してみてください。

[次のページに練習問題があります、挑戦してみてください。]

=== 《ちょっと遊んでみませんか?》 ===

??? あなたならどうする ???

廓くるわの大門から水道尻すいどじりまでひとすじにのびる中之町の通りを埋めた桜は、薄墨をにじませたように色が無く、花陰はなかげを練り歩く花魁おいらんも、若い衆ながえがさしかけた長柄の傘も、つきしたがう振袖新造ふりそでしんぞ、番頭新造ばんしん、紫陽花あじさいに似た簪かんざしを飾ったおさない禿かむろも水に色を洗い流したようで、ゆうは、眼だけになって、そのひっそりした道中を視ているのであった。

+++++

検察官は革のスーツケースをあごでしゃくった。

「あの中身は？」

「書類ペーパーです」

「紙ペーパー？」

「書類です」

「紙の種類は？」

トイレットペーパーよ。そう答えてやろうかと思った。休暇期間を利用して、カリブ海じゅうをまわり、トイレットペーパーを集めていました、と。「法律関係の書類やらなにやらです。わたしは弁護士ですから」……

パソコン講座

— 楽しいMS-DOS —

◎ COPY とは

同じファイルを他の場所で作る事をファイルをコピーすると言います。

ある畑でとれたニンジンと全く同じニンジンを他の畑で作る（これはクローン技術でも使わない限り無理でしょうが）ことだと思って下さい。MS-DOSでは同じドライブ、同じディレクトリ内では同一ファイルは作れませんのでコピー先は必ず違う場所になります。

使い方は、

A>COPY ファイル名 COPY先ドライブ名またはディレクトリ名

とします。例えばBドライブのHATAKE.TXT というファイルをCドライブにコピーする場合は、

A>COPY B:HATAKE.TXT C:

です。また、コピーする際ファイル名を変えてコピーする事もできます。例えばAドライブのTANBO.TXTをBドライブにHATAKE.TXTと名前を変えてコピーするには、

A>COPY TANBO.TXT B:HATAKE.TXT

というようにコピー先に変えたいファイル名を書けばよいのです。この場合はファイル名が変わりますのでコピー先は同じディレクトリでもかまいません。

どんな時にこのような事をするかと言いますと、例えばワープロなどで以前に作った文章ファイルを書き換えた場合、そのままそのファイルをセーブ（その項参照）すると前のファイルを上書きしてしまい、前のファイルは無くなってしまいます（大抵はバックアップファイルを作ってくれるのですが）。そうならないように、最初と同じ文章ファイルを名前を変えて2つ作っておけば、1つのファイルが変わっても安心というわけです。（こんな事はあまりしませんが参考までに・・・）

○DISKCOPYとは

畑の1枚（フロッピーディスク）を、用水や畦道や側道そのままに丸ごと同じものを作る（複製する）事を言います。

AドライブのフロッピーディスクをBドライブのディスクにコピーするには、

A>DISKCOPY A: B:

と入力します。すると、

DISKCOPY version X.XX

ディスクのコピーを行います

送り側ディスクをドライブ A: に挿入してください

受け側ディスクをドライブ B: に挿入してください

準備ができたならどれかキーを押してください

とメッセージが出ますので、コピー元のディスクをAドライブにコピー先のディスクをBドライブに入れて（絶対にこれを間違わないで下さい）何かキーを押します。すると読み込み、書き込み、照合が順次行なわれ、最終的には同じディスクが2枚出来上がります。

ただし、プロテクト（その項参照）のかかったソフト（ゲームソフトはほとんどそうですが）はこのDISKCOPYコマンドではコピーすることは出来ません。またできたとしても、それを使用することは法に触れる可能性があります（違法コピーはやめましょう）。

コピー先のディスクは必ずフォーマット済みのもの（何かファイルが入っていてもかまいません。そのかわりそのファイルは消えてしまいますが）を使用します。その際フォーマットの形式は、コピ

一元とコピー先で同じでなければなりません。つまり、コピー元が1.2MBならコピー先も1.2MBに、コピー元が640KBならコピー先も640KBにフォーマットされたディスクを用います。

DISKCOPY で同じディスクを作るのと、フォーマットしたばかりのディスクに COPY コマンドで全ファイルに移すのではどう違うのでしょうか？

DISKCOPY は最初に触れたように、畑の構造そのものを写します。畑のどの部分にどのファイルがどういう風に植えられているかまで全く同じに再現をします。一方 COPY コマンドでファイルを移すと、端から順に作物を植えて行きますので、同じ広さの畑で、内容物が一緒でも全く同一の2つの畑とはならないのです。

さて、DISKCOPY の時に、コピー元のディスクとコピー先の（フォーマットしたばかりの）ディスクを入れ間違えたらどうなるでしょう？ 何も無い畑と同じものが忠実に複製され、元のディスクとなるべきだったディスクの内容は綺麗サッパリ失われてしまいます。こんな事にならないよう、DIR コマンドでディスクの中をよーく確認してから行なったり、元となるべきディスクにプロテクトシールを貼って行なったりするのが有効です。

* V E R I F Y とは

照合する事をベリファイすると言います。ファイルをコピーする時に /V というオプションスイッチを付けると照合付きでコピーをします。

```
A>COPY HATAKE.TXT B: /V
```

このように使うと、Aドライブの HATAKE.TXT というファイルを照合しながらBドライブにコピーします。つまり、コピーをしたらコピー先からそのファイルを読み込んで、書き込んだはずの内容と相違ないかどうか照合検査するという動作が行なわれるようになるのです。多少時間が余計にかかり（と言ってもコンマ数秒ですが、）ますが、このスイッチは付けておいた方がよいでしょう。毎回付けるのが面倒だという人は、AUTOEXEC.BAT ファイルの中で、

```
VERIFY ON
```

という1行を入れておいたら良いでしょう。これで、コピーの際は必ずベリファイが行なわれます。逆は、

```
VERIFY OFF
```

です。また、ただコマンドラインから

```
A>VERIFY
```

とだけ入力してリターンすると、

```
VERIFY は <on> です.
```

```
VERIFY は <off> です.
```

のいずれかが返ってきます。そのときのベリファイの状態が表示されるわけです。

さて、DISKCOPYで /V スイッチを付けると少し意味合いが異なってきます。日電のMS-DOSでは DISKCOMP というコマンドが無いかわりに、

```
A>DISKCOPY A: B: /V
```

で、AドライブのディスクとBドライブのディスクが同一のものであるか否かの照合ができます。VERIFY 状態の ON-OFF に関わらず、DISKCOPY 動作は必ず照合を行ないながらコピーを進めるのです。だから、あえて /V を付けると、コピーは行なわず、照合のみ行なうモード（つまり、本家MS-DOSの DISKCOMP コマンド）になるのです。

** 畑の整備 (コンフィギュレーション) **

◎ CONFIG. SYS ファイルとは

MS-DOSは立ち上がる時このファイルをCOMMAND.COM の次に読み込みます。このファイルには畑には川からどの様に用水を引けとか、出荷のための農道はどうつけるとか、どのくらい肥料を用意して置けとか、作物倉庫はこのくらい使用するぞといった、農作業の環境に関する命令が記入されています。

このファイルによって現在使っているパソコンの環境を設定することができるのです。日電のMS-DOSでは、Ver3.1 以上になってからこの CONFIG.SYS にプリンタドライバーを設定しないとプリンタが使用できなくなりました。

```
DEVICE=PRINT.SYS
```

と CONFIG.SYS に記述して下さい。（もちろん PRINT.SYS というファイルをディスク内に入れておいて下さい）

以下に日電機の CONFIG.SYS の例を示します。これは、MS-DOS Ver3.1 以降をお使いで FEP（その項参照）に ATOK 6 を使い、かつマウス（その項参照）を使われるような場合の 1 例です。

```
FILES = 15          <--- 管理すべき畑の枚数を宣言
BUFFERS = 20       <--- 使用する作物倉庫の数を宣言
DEVICE = ATOK6A.SYS <--- FEPにATOK6を使う宣言
DEVICE = ATOK6B.SYS <--- 同上
DEVICE = PRINT.SYS <--- プリンタを使う宣言
DEVICE = MOUSE.SYS <--- マウスを使う宣言
```

CONFIG.SYS ファイルはMS-DOSの中でも特に重要なファイルですのでタイプミスなどをしないよう確実に記述して下さい。また後述する EMS やRAMディスク、キャッシュディスクなどを使用す

るときもこのファイルに宣言しておかないと使用できませんので各ドライバーの説明書を良く読んで組み込んで下さい。

*バッファとは

作物を移動させるときに一時的に保管を行なう倉庫のようなものだと思って下さい。この倉庫が大きいと、いちいち畑まで取りに行かなくとも作物を他に移すことが出来ますから、高速な処理が可能となるわけです。

この倉庫の大きさは CONFIG.SYS の中で

```
BUFFERS=20
```

の様な記述で決めます。通常は 12～30 くらいの値とします。あまり大きくするとプログラムのためのメモリが少なくなってしまうので、20 くらいが適当でしょう。

*デバイスとは

装置の事。畑を耕す耕運機やスプリンクラーだと思って下さい。

MS-DOS の Ver. 3.1 以降からは使用する装置を CONFIG.SYS で宣言しなければならなくなりました。(CONFIG.SYS のところにも書きましたが) 例えばプリンタを使うなら

```
DEVICE = PRINT.SYS
```

このように装置としてプリンタを使いますよと DEVICE 文に記述しないと、ワープロを使っていていざ印刷しようにもプリンタが動いてくれないという事が起こり得ます。FEP (その項参照) もデバイスの一種でキャラクター型デバイスと言います。一方プリンタやマウスをブロック型デバイスと言います。

ADDDRV や DELDRV (その項参照) が使えるのはキャラクター型デバイスに限ります。

○日本語入力フロントエンドプロセッサ (FEP) とは

パソコンはアメリカで生まれたものであり基本的に英文字、数字の入力を前提としています。そのため、日本語 (かなや漢字) を入力するためにはその目的に合った装置が必要となります。

その装置が日本語入力フロントエンドプロセッサ (FEP) と呼ばれるもので、日本語ワープロソフトにはそれぞれ必ず付属しています (一太郎にはATOK、松には松茸など)。

この装置は日本語をコンピュータがそのまま扱えるようにしたのではなく、単にユーザー (つまりあなた) が便利なように、日本語をコンピュータの理解できる記号に置き換えるようにしたというだけです。つまりコンピュータに日本語と記号の通訳をさせるようなソフトウェアの一種が FEP なのです。

日本語を扱う人にとってこのF E Pの能力というのはとても重要で、日本語入力の際のタイピングスピードがこれ次第で大きく変わってしまいます。なるべく自分に合ったF E Pを1つだけ使うほうが良いでしょう。（これもソフトによって使えないF E Pがあるので難しいのですが(^_^;)）

F E Pを使うには DEVICE 文に必ず宣言をしておかなければなりません。例えばA T O K 6を使うなら

```
DEVICE = ATOK6A.SYS /D=B
```

```
DEVICE = ATOK6B.SYS
```

のように CONFIG.SYS の中に書いておいて下さい。

F E Pを立ち上げる（使えるようにする）には、CTRL+XFER（コントロールキーとX F E Rキーを同時に押す）という操作をして下さい。

* システムライン／エコーラインとは

日本語を入力するとき画面のいちばん下の部分（ここをシステムラインと言う）に一旦表示し、確定後入力したい部分に入る入力の仕方をシステムライン入力と言い、最初から入力したい部分に入る入力の仕方をエコーライン入力と言います。

エコーライン入力の方が目線が移動しないので楽なのですが、これもソフトによってシステムライン入力しか出来ないものがあり試してみるしかありません。

* ADDDRV、DELDREV とは

MS-DOS Ver. 3.1 からF E P（その項参照）などのキャラクター型デバイス（その項参照）を使用できるようにしたり、外したりする事が出来るようになりました。

これはF E Pのところで少し説明したのですが、ソフトによって使えないF E Pがある（例えばロータス1-2-3 では松茸、ATOK、VJE、NECDIC 以外のF E Pは使えない）ので、これを切り替えて使う必要が生じてきた為なのです。

ADDDRV、DELDREV はバッチファイルなどに記入して使うと便利でしょう。

* タイマー（システム時計）とは

パソコンにはすべて内部に時計が入っています。この時計はファイルをディスクに書き込んだときに自動的に日時（タイムスタンプと言います）を記入してくれたり、日付や時間を表示してくれたりと非常に便利な機能ですが、これも普通の時計と一緒に時間を合わせてやらなくてははいけません。

年月日を合わせるにはDATE というコマンドを使います。

```
A>DATE
```

と入力すると、

現在の日付は 1992-XX-XX (金) です。

日付を入力して下さい：

と表示されますので、もし違っていたら年-月-日をハイフン(-)かスラッシュ(/)で区切って必ず半角で入力して下さい。

変更のない場合はそのままリターンキーを押して下さい。

時間を合わせるコマンドはTIME です。

A>TIME

と入力すると、

現在の時刻は 20:10:35 です。

時刻を入力して下さい：

と表示されますので DATE と同じように半角で時刻を入力して下さい（ただし、24時間表示ですので午後8時は20時となります）。区切りはコロン(:)でして下さい。秒まで入力する必要はなく分まで入力すればリターンキーを押した瞬間から0秒となります。

このタイマーは時刻を教えてくれるだけでなく非常に重要な意味をもっており、この時間が狂っていると（長時間パソコンを使わなかったり、操作ミスから違う時間を入力してしまった場合）ハードディスクが動かなくなったり、おかしい動作をする事があります。ハードディスクに書き込んであるファイルの日時がパソコンの時刻より後になることは通常ではありえませんが、こういうことが起こるとソフトによってはおかしいことになる場合があるのです。

普段は余りに気にしなくてもよいのですが、たまには時刻合わせをして下さい。

* 互換とは

互換は「広辞苑」によると「互いにとりかえること。また、とりかえがきくこと」と記してありますがパソコンの世界ではどういう意味なのでしょう。

これは違うハードや違うソフトで同じように使う（動く）ことができるということです。

あるトラクターが田んぼでは使えるが、畑では使えないとするとこのトラクターは田んぼと畑で互換性がないことになり、お百姓さんは2台のトラクターを買わなければなりません。もしどこかのトラクターメーカーが田んぼでも畑でもどちらでも使えるトラクターを作れば1台で済みます。

エプソンのパソコンは日電の98シリーズの互換機といわれていますがこれは98で動くソフトがそのままエプソンのパソコンで動くということです。

また「98のMS-DOSとIBMのMS-DOSはデータ互換がある」というのは、共有しているデータ形式があるので、その場合についてはどちらでも読むことができる（ただしいくつかの条件がありますが）ということです。

我々ユーザーにとってみればすべてのマシンで互換性があればこんなに便利なことはないのですが、特に日本だけが「日本語環境」という特殊性のために独自のパソコン文化を形成してきたようです。

最近では、世界的な主流であるIMBのPC/AT互換機がDOS/V（その項参照）で日本語環

境を手に入れ、安いハードが怒涛のように流入し始めています。東芝もこのグループに加わりつつありますし、日電、エプソンもアメリカではPC/AT互換機を売っているわけですから、これからの動きが注目されます。

(つづく)

下調べ辞書 **追加データ** ニュース

—操作方は簡単です、ぜひ使って下さい—

登録されている辞書、ジャンルなど。(登録件数 一般：49,000件 人名：11,000件)

- | | |
|---|---|
| ◇地名・その他の固有名詞
郡名／市区町村名／山岳名／河川名／外国名／外国都市名／駅名 | 『大江戸おもしろ役人役職読本』
☆『古文書難語辞典』
『河川よみかた辞典』日外アソシエーツ
☆『漢字ハンドブック』
『季語集』水原秋櫻子
『古典落語事典』永田義直 |
| ◇人名
戦国人名／劇画家名／相撲人名／天皇名／漢字で書かれた西洋人名／現在の衆議院議員名／現在の閣僚名／外国駐在大使名 | ☆『古墳辞典』小林三郎
☆『人物ファイル'93』樺山紘一ほか
☆『戦国人名辞典』高松年一ほか
『大辞林』
『日本考古学小辞典』江坂輝彌ほか
☆『日本軍隊用語集』寺田近雄
☆『日本史用語の基礎知識』武光誠
☆『日本の古典名著総解説』赤塚忠ほか
『法律用語辞典』内閣法制局
☆『郵便番号簿』郵政省 |
| ◇その他
元号名／年中行事／漢方医学関係用語／植物名／鉱物名／四字熟語／馬術用語／歴史用語／古墳・墳墓名／暦／書名(日本の古典)／古文書関係用語 | |

◎登録辞書(登録中も含む)

[☆印……登録済み]

⊗

掲 示 板

⊗

・先月号(19号)の付録としてお送りしました『点字表記辞典運用表』の取扱いに関する説明不足で、誤解をされた方がありますので改めてお知らせします。過去に運用表に基づいて『表記辞典』を訂正していただきましたが、すべて白紙に戻し、今回の運用表に基づいて『表記辞典』の訂正をお願いします。したがって、前回の『運用表』に載っていて、今回掲載されていないものは、『表記辞典』通りとなります。

⊗

⊗